

(1) 2007.8.6 『ふるさと企業訪問 ~株式会社パイブドビッツ~』



株式会社 パイブドビッツ
 代表取締役社長 佐谷 宣昭 さん
 (今治市河南町出身)

東京に到着した私たちの初仕事
 私たちにとって一番最初の社長訪問でした。「どんな話をしようか?」どんな質問をしようか?「順番は、この順番でね。」会社までの道中、みんなで色々と打ち合わせをしました。が、いざ本番、緊張のあまりどうも感して進んでいくのかわからない私たちでした。しかし、パイブドビッツのみなさんはとても親切で、社員の方が司会をしてくれたり、スケジュールも考えてくれて、緊張もほぐれ、楽しくできました。
 私たちは、考えてきた質問を佐谷さんへぶつけて、それを佐谷さんは、一つ一つ真剣に答えてくれました。自分達の夢についての直筆のコメントもいただき、すこく嬉しかったです。その後、社内を見学させていただきました。そして、最後にみんなで写真も撮って帰りました。(山本)



初めての名刺交換
 生まれて初めての名刺交換でした。名前を言って名刺を渡すという簡単なことなのに、緊張して自分の名前を囁んで言ってしまったたり、名刺を逆向きで出してしまったり...いろいろなハプニングが起きて、頭の中が真っ白になってしまいました。でも佐谷さんはまだ名刺交換に慣れていない私達に、笑顔で接してくださいました。とても嬉しかったです。

人生初めての名刺交換は私達にとってとてもいい思い出となりましょう。
 一生忘れることはないです。(渡部)

今度、少しは成長した私たちに会ってください。

多くの企業の社長さんの話を直接聞くことのできた4日間。私達高校生にとっては、難しい話もあり聞くだけで一杯でした。
 佐谷社長さんへの質問では、数日前から考えていたため沢山することができました。
 佐谷さんは、丁寧に真剣に答えてくれたとてもわかりやすく心に響きました。特に、私達は高校生なので、佐谷さんが高校生の時の話はとても貴重なものでした。
 また、将来の夢についても大切なことを教えてもらうことができました。どの社長さんも同じような質問をすると同じような答えが返ってくることもありませんでした。
 もう一度、このような機会でお会いする時は、佐谷社長さんに自分達の成長を見てもらいたいです。(徳丸)



わたしたちの『夢』に、真剣に向き合ってくれた直筆のメッセージ

☆わたしの夢(阿部未来)☆
 まだ具体的には決まっています。けれど、会社の経営と福祉に関する仕事に興味があります。
 ☆佐谷さんからのアドバイス☆
 経営の基本「いくら商品をいくつ売るか」です。そして、たくさん売ることが社会貢献につながっている事です。
 将来の夢は決まっていなくても、今やるべき事は決まっています。それを一生懸命やる事が素敵な将来への第一歩だと思います。

☆わたしの夢(片上あかね)☆
 私にはまだ「これになりたい」という夢がありません。けれど、外国と関われる仕事をしてみたいです。それは、中2の時にアメリカにホームステイして、もっと外国と関わりたいと思うようになったからです。
 ☆佐谷さんからのメッセージ☆
 大学生の時に何度も海外に行きました。今でも友達付き合い合っている人も多いです。彼らが何故私と会話してくれたかというところ。それは私が研究結果や作品を手にして渡航していたからです。何でもいいと思います。自分の成果を手にして海外と関わる仕事をしてみてください。



夢について
 この4日間、私達は自分自身の『夢』について深く考えることができた。
 夢について語ってくれた社長さんの話は印象強いものがある。
 『夢を見つめるためにはまず行動をおこす。』
 『ゴールイメージを持つ。』
 これから、社会に出る私達は自分自身の夢、将来について考えていかなければなりません。そのためには、この4日間得たさまざまな言葉を思い出しながら一歩ずつ進んで行くことが、私達高校生には大切だと感じました。(徳丸)

